

「ホッとできる場所見つけて」ひきこもり経験者
札幌の講演で訴え

20代に約5年間、自宅に引きこもった経験がある東京都在住のすみれさん(36)＝仮名＝を招いた講演会が11月21日、札幌市内で開かれた。

ひきこもり当事者らを支援するNPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワークが主催し、当事者ら38人が参加。

すみれさんは幼少期から集団生活に入るのが苦手で、編入した大学に通えなくなったのがきっかけで24歳から約5年間、自宅に引きこもった。

29歳の時、ひきこもりの女性たちの支援団体が東京で活動しているのを知り、当事者会に参加するようになり、外出できるように。

引きこもっていた経験や当時の思いについて語るすみれさん(左)



その後、就職した美術館では同僚や上司が生きづらさを理解してく

れ、楽しく働けたという。

現在はひきこもり女性の支援団体のスタッフとして活動する一方、東京・国立市でアートを通じた交流の場を主宰する。

すみれさんは「ホッとできる居場所があれば気持ちが落ち着く。つらい経験をしている人は家の中でも外でもいいので、そういう場所を見つけて」と呼びかけた。

(片山由紀)